

別紙

I. 事業評価総括表（平成30年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	市営林道御岳線 2級 修繕工事	甲府市	4,400,000	4,400,000	総事業費 ¥4,687,200-

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	市営林道御岳線 2級 修繕工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		甲府市
交付金事業実施場所		甲府市御岳町地内外
交付金事業の概要	<p>林道舗装面が、経年劣化によりクラック（ひび割れ）が生じると共に、陥没箇所が散見され通行に支障をきたしていることから、通行車両の安全を図るために劣化した舗装面の修繕工事を実施します。</p> <p>また、排水施設の老朽化により、通行に支障をきたしていた箇所についても併せて修繕工事を実施します。</p> <p>施工延長 L = 42.2m 舗装工 A = 203.1m² 側溝工 L = 19.0m</p>	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【主要施策・施策】 第六次総合計画（平成28年度～平成37年度） 2 魅力があふれ人が集う活力あるまちをつくる（活力） 施策の柱；産業を振興する ②農業・林業の振興 ・林業の活性化を図るため、適正な森林施業をはじめ、林道の整備、林業経営の安定化などに努めます。また、市営林道及び作業路の適正な維持管理により、林業振興と地域住民の生活道路の確保を図ります。</p> <p>【目標】 修繕箇所における苦情件数0件</p>	
事業開始年度	平成28年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由	第六次総合計画の終期	
		平成37年度

成果目標	成果指標		単位	評価年度	平成31年度		
修繕箇所における苦情件数0件	修繕箇所における苦情件数0件	成果実績	件		0		
		目標値	件		0		
		達成度	%		100		
評価年度の設定期理由							
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業翌年度に評価を実施。							
交付金事業の定性的な成果及び評価等							
<p>市営林道御岳線は、地元住民の生活関連林道及びクリスタルラインへのアクセス道路であり、1年を通じて往来する車両が多いため舗装面などの劣化が著しく、これに対する補修要望も増加していました。</p> <p>また、林道改良工事（幅員の拡幅）が終了後、道路の改良・維持補修については殆ど実施していなかったことから、経年劣化が進み当該箇所において舗装面のクラック（ひび割れ）・陥没等による通行車両への支障が度々報告されてきました。</p> <p>本事業で経年劣化した舗装面の修繕及び排水構造物の改修等を行うことにより、生活道路として利用する地域住民に加え、上流域へ通行する観光客の車両の安心・安全を確保することが可能となります。</p> <p>平成30年度においても、地域住民及び観光客から要望が多数寄せられた劣化した舗装及び排水施設の修繕工事を実施し、修繕箇所における苦情件数0件を達成することができました。</p> <p>また、平成6年度から本交付金を活用し、舗装維持修繕工事等を行っており、平成6年度から平成30年度までの24年間で総延長3,888.9mの区間を補修実績として達成しました。</p> <p>平成31年度以降についても引き続き、林道及び付属構造物の修繕を行い、修繕箇所における苦情件数0件を目指し実施してまいります。</p>							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無し							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	年度	年度	
	施工延長		活動実績	m	42.2		
			活動見込	m	42.2		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費	平成30年度	年度	年度	備考			
総事業費	4,400,000						
交付金充当額	4,400,000						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	4,400,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
市営林道修繕工事		指名競争入札		丸浜舗道株式会社		4,687,200	
交付金事業の担当課室		産業部 農林振興室 林政課					
交付金事業の評価課室		産業部 農林振興室 林政課					